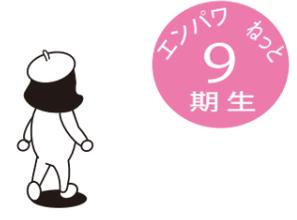
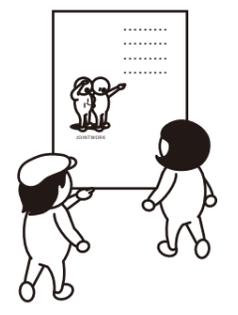


TOPICS 第9期生「地域エンパワねっとII」報告会 STEP 3 共有する



2016年度「地域エンパワねっとII」 報告会を開催しました！



2017年1月29日(日)

【報告会】9:20～11:30
龍谷大学 瀬田キャンパス 8号館103講義室
【懇親会】11:45～12:50
生協食堂 青志館1階



2016年度「地域エンパワねっとII(9期生)」報告会は、
地域の皆様や次期エンパワねっと受講希望学生などの参
加も得て、94名で開催しました。ご来場いただいた皆様、
ありがとうございました。

中央地区3チーム、瀬田東学区4チームで活動してき
た9期生は23名が「地域エンパワねっとII」に進みました。



報告会では、地域の皆さんと1年間かけて取り組ん
できた成果を、チームごとの口頭発表およびポスターセッ
ションによって報告しました。スライドやポスターは、
活動の意義と成果、また地域の方々への感謝を伝えるた
めに皆、工夫を凝らしていました。

報告内容は「エンパワI」で見つけた地域の課題を、「エ
ンパワII」でどう解決しようとしたのか、そしてその活
動から得られた成果、今後の課題についてです。

- C01 花のいろ
- C02 Sky
- C03 たてものがかり
- S01 チームパフォーム
- S02 びかびか☆
- S04 スヌービー
- S03 カルピス

口頭発表を踏まえて行われたポスターセッションでは、
地域の皆様から瀬田東と中央の別なく温かい感想やアド
バイスをいただきました。



9期生の取り組みはこの報告会で終わりましたが、い
くつかの活動と問題意識は来年度の10期生に引き継が
れることが期待されます。地域の皆様、来年度もご指導よ
ろしくお願いいたします。

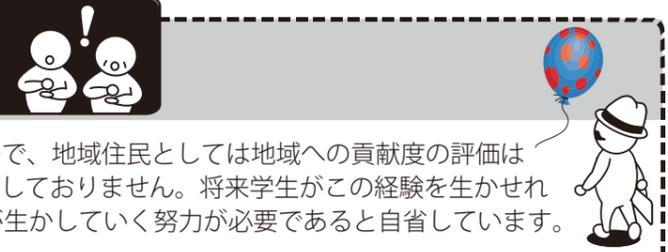
最後に、地域の皆様からのあたたかいご支援、ご協力
に心からの感謝を申し上げます。

(報告会担当 猪瀬優理)

*1 エンパワ9期生...2016年度4月から「地域エンパワねっとI・II」に取り組んでいる学生たちです。

報告会に参加して

= ご参加いただいた方の感想文より =



- ・教育(授業)の一環として実施されていることであるので、地域住民としては地域への貢献度の評価は2～3割、7～8割は学生が学ぶものとして成果は期待しておりません。将来学生がこの経験を生かれば十分です。しかし、2～3割の成果を我々地域住民が生かしていく努力が必要であると自省しています。
- ・地域や課題によると思うが、アンケートの分析、それによる対策を行っている。大変よく活動しているチームが数チームあることは成長してきていると感じます。
- ・いろいろな活動企画も大切ですが、今までに企画立案した案件を継続してほしいです。
- ・学生の活動について、地域に入って活動することはよいと思うが、期間が短いし、どのグループもイベントとアンケートを実施すれば満足し、発表の取りまとめで終わっている。地域に今後役立つようなものを考えてほしい。
- ・学生の着眼点はよい。もっと地域の人々に協力していただかないと規模が小さくなってしまふ。自分たちのPRを多くの人に発信して地域がよくなることを願う。

第9期 地域エンパワねっとII を 終 え て

エンパワ9期生が成長していく姿を見守ってきた

授業担当教員からのメッセージです。

9期生では初めて本格的に中央地区を担当
しました。地域の歴史や特徴、商店街の動向、大
津祭や町家のことなど、学生と一緒に改めて深く
学んだ気がします。学生達は、何度も地域に足を
運び、地域諸団体や商店街の皆さん、大津市役所
やまちづくりに関する企業の方々など、多様な立
場の方からお話をうかがいました。そして、自分
達に何ができるかじっくり考えました。この経験
を3年以降の学びにつなげてもらいたいと思いま
す。支えて下さった地域の皆様に感謝申し上げ
ます。
(筒井のり子)

瀬田東学区での各チームとも最後までがんば
ってくれたと思います。その過程では、チームで一
つの課題に取り組むことのたいへんさや難しさを実感す
るとともに、多くのことを学んだのではないかと思いま
す。メンバー一人ひとりの思いや考えが違うのは当たり
前のことで、その違いを互いに理解し調整していかないと
同じゴールを目指すことはできません。そういった点
でうまくいかなかったのはなぜか、どうすればよかつた
のかを振り返り、次の活動に活かしていきましょう。
そして、みなさんの活動は、地域の多くの人たちの協
力なしにはやり遂げることはできなかったことと、エ
ンパワが終わっても、地域とはつながっていること
を忘れないでください。
(高松智画)

エンパワでは、学生がこれまでよく知らな
かった地域に飛び込み、1年という短期間で課
題の発見と解決を目指します。とても無謀なプロ
グラムですが、授業担当者として学生の成長を目の
当たりにし、エンパワの教育効果を実感しました。
継続的な活動を望まれている地域の声に応えきれており
ませんが、それでも地域のみなさまのご理解とご支援に
支えられて9期生まで輩出できたことを心より感謝申し
上げます。エンパワが地域の活力にもなっていること
を願ってやみません。
(古莊匡義)

「地域の皆様とともに」がエンパワねっとの
醍醐味なのだ、と改めて感じました。「とも
に」といっても、学生自身の地域の皆様との協働の
実態については心もとなく、学生は地域の方に助け
てもらえばよかったはずですが、しかし、それによ
って学生が大いに育てられたことも確かです。これから
社会活動や地域活動に参加する機会を得たとき、地域
の方々からもらったことが生かされてくるに違いありま
せん。地域の皆様、ありがとうございました。
(猪瀬優理)



スケジュール・お知らせ

- ◆ 3月17日 卒業式(瀬田キャンパス)
- ◆ 4月2日 入学式(瀬田キャンパス)

2017年度より、「地域エンパワねっと」は社会学部の全3学科が共同で運営する実習科目である「社会共生実習」に含まれます。今後とも、大津エンパワねっとをよろしくお願ひ申し上げます。

では、
アド

エンパワでは、学生が
かった地域に飛び込み、
題の発見と解決を目指し
グラムですが、授業担当
当たりにし、エンパワの
継続的な活動を望まれて

では、
アド

エンパワでは、学生が
かった地域に飛び込み、
題の発見と解決を目指し
グラムですが、授業担当
当たりにし、エンパワの
継続的な活動を望まれて